

①令和4年出水（台風14号）における  
各機関の対応について

宮崎土木事務所管内流域治水協議会

良かった点

- ・・・関係市町村や森林組合、地元土地所有者などの関係者から情報提供を受けることで被害箇所を把握することができた。
- ・・・ドローンを活用することで、より簡易に詳しく被害状況を確認することができた。

反省点・課題など

- ・・・事業箇所が奥地水源林にあるため、被害状況の把握に時間を要した。
- ・・・事業地までのアクセス道の被害が激しく、詳細な被害状況を把握できていない箇所がある。
- ・・・被害状況を早期に把握することが課題となる。

今後の対応など

- ・・・災害に強い山づくり、道づくりを進める。
- ・・・災害発生時は、現地で状況を確認することに努める。
- ・・・今後の大規模な災害が発生した際、被害状況を撮影した航空写真等を共有いただきたい。

## 良かった点

- 市内の多くの地域で停電が発生し、復旧に時間を要する見込みであったため、暑さや携帯電話等の充電でお困りの方に、総合支所・地域センター・地域事務所の利用を呼びかけた。

## 反省点・課題など

- 停電復旧に関する市民からの問い合わせが市側に殺到し、対応に追われた。  
電力会社のコールセンターを案内するも、「つながらない」と言われ、どうしようもなかった。
- タイムラインを明確にし初動対応及び避難発令判断に至るまでの時間を十分に確保できず、現場との調整に苦慮した。
- 各河川の水位が上昇していない（水防団待機水位にも達していない）段階で市内全域に避難指示を発令していたため、水位が上昇し危険な地域に対しては緊急安全確保を発令せざるを得なかった。

## 今後の対応など

- 電力会社との連携を密にし、更なる情報の共有化を図りたい。
- 現在構築中の防災情報共有システムの「発令支援」機能を活用し、河川水位等の情報を基に、的確な避難発令につなげたい。

良かった点

- 台風接近前後に、ため池の点検の実施を管理者に呼びかけたことで、災害防止及び被災後の早急な発見、対応ができた。
- 事前の待機を依頼し、適切な水門管理ができた。

反省点・課題など

今後の対応など

## 良かった点

- 台風14号出水の対応では、台風接近前より排水機場操作員及び樋門操作員を配備し、適正に操作を行えた。

- 
- 
- 

## 反省点・課題など

- 
- 
- 
- 
- 
- 

## 今後の対応など

- 
- 
- 
- 
-

## 良かった点

- 台風14号による大雨が予想されたため、ため池管理者へ低水管理（事前放流）の依頼を行った。
- 「大雨特別警報」が発表されたため、対象ため池の管理者へ緊急点検を依頼。安全性を確認することができた。  
また、専用の災害情報システムにより、点検結果を国・県・市で共有することができた。
- 湛水防除施設（排水機場）を適切に稼働させ、農地や周辺住宅地等の湛水・浸水を未然に防いだ。

## 反省点・課題など

- 緊急点検の際、ため池管理者に調査を依頼するが、連絡の付き難いケースもあった。連絡方法や緊急点検要領の周知について工夫が必要。
- 所管する湛水防除施設のほとんどで老朽化が進んでおり、小規模な不具合が発生した。

## 今後の対応など

- 大雨や地震等の緊急時の管理や点検方法について、管理者へ情報発信を行う。
- ため池管理者との連絡方法について、より効率的な方法を構築する。
- 湛水防除施設の運転管理組合や保守点検業者等と施設の状態について情報共有を行い、重大な事故に繋がる故障やその兆候等を見逃さないようにし、効果的な補修方法を検討していく。
- 施設の具体的な更新計画を策定する。

良かった点

- 台風接近による大雨の対応として、関係市町を通じて農業用ため池の管理者に対し、施設の点検整備、水位低下による出水貯留など以下の内容を周知した。

(周知内容)

- ・ 堤体及び洪水吐等の点検、整備
- ・ 水位低下による空き容量確保
- ・ 下流域住民への注意喚起
- ・ 避難経路の周知徹底
- ・ 連絡体制の整備 など

反省点・課題など

- 大雨時には、施設の管理者が農業用ため池に近づくことが非常に危険であるため、水位や施設の状態を監視できる体制が必要である。

今後の対応など

- 農業用ため池に水位計や監視カメラを設置し、水位や施設の状態を遠隔で監視できる体制を推進していく。  
(一部ため池で実証中)

## 良かった点

- 宮崎市に委託している排水機場及び樋門の操作を適切に実施していただき、農地や周辺住宅地等の湛水・浸水を最小限に防いだ。
- 水位周知河川の水位情報を、関係機関に適切に周知した。

## 反省点・課題など

- 河川水位の高い状態が長時間続き、特定の排水機場において、燃料不足が懸念される状態となった。台風14号は休日に最接近したため、ガソリンスタンド等が休業日であり電話が繋がらない状態であった。
- 所管する排水機場において、小規模な不具合が発生した。（点検業者にて対応）

## 今後の対応など

- 台風接近前にガソリンスタンド等にあらかじめ連絡をし、休日でも給油できる状態を整えておく。
- 定期点検で発見された不具合は早急に修繕する。